

導入効果の事例 都道府県庁様の概要

従業員数 20,000名以上

利用製品

**i-FILTER** Ver.10 × **m-FILTER** Ver.5

## FireWall製品の定義ファイル更新前に、i-FILTERがマルウェア感染をブロック

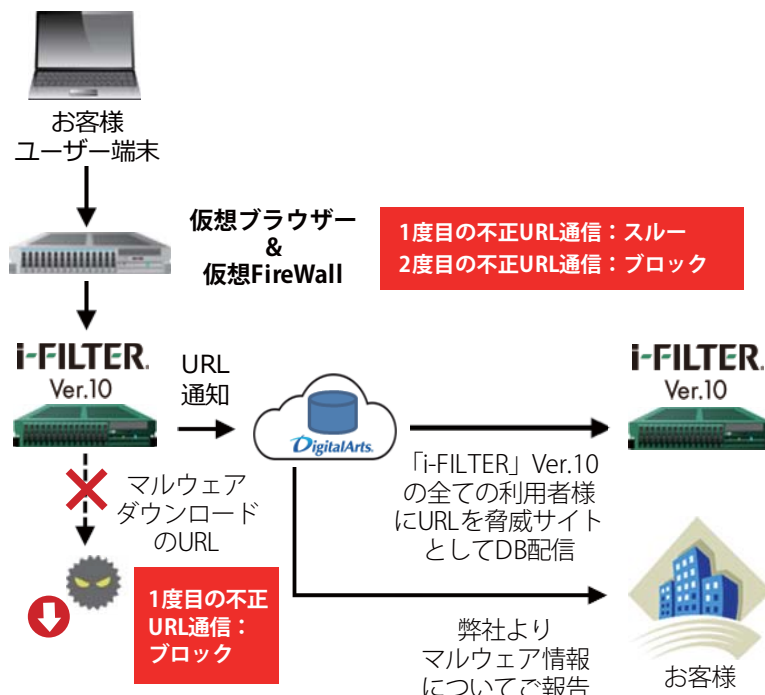
都道府県庁様では自治体情報セキュリティクラウド及び強靱化の対策として「i-FILTER」Ver.9と「m-FILTER」Ver.4をご導入いただきましたが、「i-FILTER」Ver.10と「m-FILTER」Ver.5のリリース後に、バージョンアップ特典を利用されバージョンアップいただきました。

※バージョンアップ特典: <https://www.daj.jp/bs/ifmf/upgrade/>

2018年7月中旬に発生したバンキングマルウェアのばら撒きスパムメールが流入しましたが、職員様が仮想ブラウザ上でメールを閲覧し添付のExcelファイルを開いたことでマクロが実行され、通信が走りました。仮想環境上のP社製FireWallでは定義ファイル(シグネチャ)がまだなく通信がスルーされましたが、「i-FILTER」Ver.10で『カテゴリ外』のURLだったため不正通信としてブロックされました。(同日に2度目の通信が走った際には、FireWallの定義ファイルが更新され、前段のFireWallでブロックされました)

お客様から『カテゴリ外』のURLが弊社に通知されたため、弊社でそのURLを確認したところ、バンキングマルウェアのばら撒きスパムメールの1次検体通信URLであり、マルウェアをダウンロードするURLであることがわかりました。そこで、「i-FILTER」Ver.10の全ての利用者様にそのURLを『脅威サイト』としてデータベース配信をその日のうちに実施しました。

### 都道府県庁様 導入効果の事例



■本書は、2018年8月現在の情報に基づいて作成しております。(※記載内容は予告無く変更される場合があります。) ■本書は、弊社「i-FILTER」、「m-FILTER」および関連製品の導入検討のためにのみご利用いただき、他の目的のためには使用しないようご注意ください。  
■デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、m-FILTER、D-SPAはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。FinalCodeはデジタルアーツグループの登録商標です。 ■その他、本書に記載されている各社の社名、製品名、サービス名およびロゴ等は、各社の商標または登録商標です。